

「秀康刀剣ものがたり」

開催要項

1 展示概要

近年、刀剣を題材としたオンラインゲームなどを背景に、全国的に刀剣がブームとなっています。刀剣には長い歴史を経て受け継がれてきた物語性があり、これが多くの人を惹き付ける魅力の一つとなっています。

本展示では、初代福井藩主結城秀康にゆかりのある刀剣にまつわる資料を紹介します。

2 会期・場所

令和3年10月29日（金）～令和3年12月22日（水） 福井県文書館閲覧室

3 主な展示資料

・「南越雑話 下」 松平文庫（当館保管）

1599年（慶長4）、佐和山城に蟄居することとなった石田三成を結城秀康が護送した。三成は護送の御礼として名刀「石田（切込）正宗」を秀康に贈った。同刀は国指定重要文化財に指定されている（東京国立博物館所蔵）。

・「越前世譜 秀康様御代（1）」 松平文庫（当館保管）

1600年（慶長5）、関ヶ原の戦いの直前、秀康は上杉景勝への備えとして奥州に残ることになる。奥州に残る秀康に父の徳川家康は名刀「稲葉郷（江）」を授けた。同刀は国宝に指定されている（柏原美術館（山口県）所蔵）。

・「結城御代記」 松平文庫（当館保管）

天下三名槍の一つである「御手杵」は秀康が所持していたことを記録。同槍は結城晴朝が作らせたもので、秀康に受け継がれた。その後、秀康の子松平直基を経て、松平大和守家に伝来した。戦災により消失し、残念ながら現存しない。